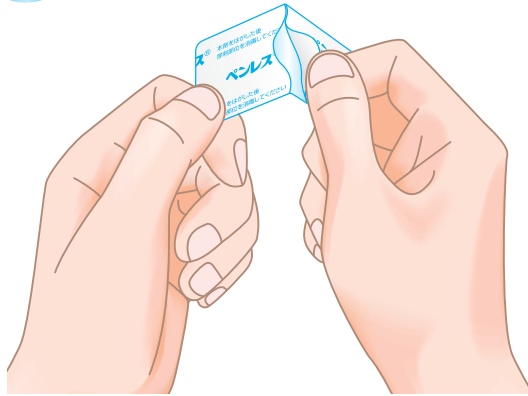
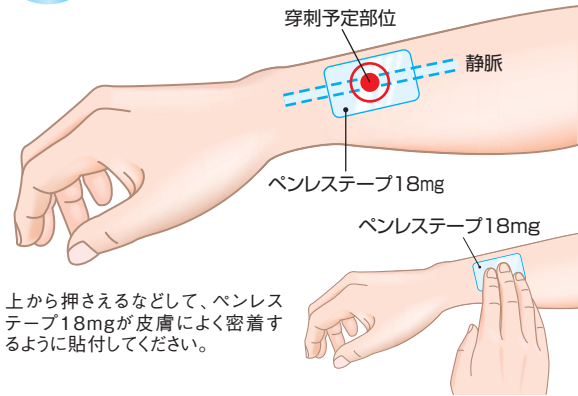


ペンレス[®]テープ18mgの使用法

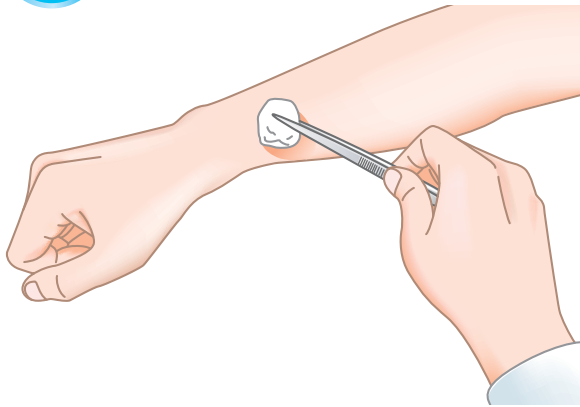
1 ペンレステープ18mgを軽く折り曲げて、波形にカットされたライナー（白く硬い台紙）をはがしてください。



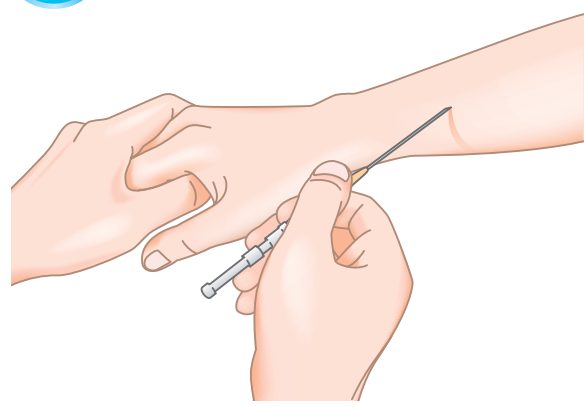
2 ペンレステープ18mg（透明な方のテープ）の長辺が血管の走行に沿うようにし、穿刺予定部位が中心になるように貼付してください。



3 ペンレステープ18mgを穿刺直前にはがし、穿刺予定部位を消毒してください。



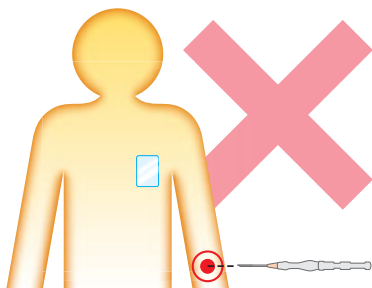
4 静脈留置針を穿刺してください。



ペンレス[®]テープ18mg貼付時の注意

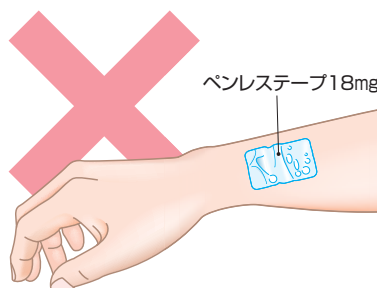
注意1 貼付部位

ペンレステープ18mgは局所麻酔剤なので、穿刺予定部位と異なった箇所に貼付しても効果はありません。



注意2 貼付方法

ペンレステープ18mgと皮膚の間に空気が入ったり、しわが寄っていたりすると、密着性が悪くなり十分な効果が得られません。



注意3 皮膚の状態

湿疹や発疹のある部位、損傷皮膚や粘膜には使用しないでください。

**湿疹・発疹・
損傷皮膚・粘膜**



禁忌(次の患者には使用しないこと)

本剤の成分又はアミド型局所麻酔薬に対し過敏症の既往歴のある患者

組成・性状

成分・含量 (1枚中)	リドカイン……………18mg
添加物	アクリル酸・アクリル酸オクチルエステル共重合体
色・剤形	白色半透明の粘着テープ剤
サイズ・膏体重量	30.5×50.0mm 膏体30mg
識別コード	ND101

効能・効果

静脈留置針穿刺時の疼痛緩和

用法・用量

本剤を1回1枚、静脈留置針穿刺予定部位に約30分間貼付する。本剤除去後直ちに注射針を穿刺する。

使用上の注意

1. 相互作用

本剤は、主として肝代謝酵素CYP1A2及びCYP3A4で代謝される。

併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
クラスⅢ抗不整脈剤 アミオダロン等	心機能抑制作用が増強するおそれがあるので、心電図検査等によるモニタリングを行うこと。	作用が増強することが考えられる。

2. 副作用

本剤の副作用集計対象となった6,316例中、135例(2.14%)に副作用が認められた。その主なものは使用部位の発赤101件(1.60%)、そう痒34件(0.54%)、接触皮膚炎10件(0.16%)等であった。〔再審査終了時の集計〕

なお、本項には自発報告等副作用発現頻度が算出できない副作用報告を含む。

(1) 重大な副作用(頻度不明)

ショック、アナフィラキシー様症状 ショック、アナフィラキシー様症状を起こすことがあるので、観察を十分に行い、不快感、口内異常感、喘鳴、眩暈、便意、耳鳴、発汗、全身潮紅、呼吸困難、血管浮腫(顔面浮腫、喉頭浮腫等)、血圧低下、顔面蒼白、脈拍の異常、意識障害等の異常が認められた場合には使用を中止し、適切な処置を行うこと。

なお、本剤除去後にも、同様症状を起こすことがあるので、注意すること。

(2) その他の副作用

以下のような副作用があらわれた場合には、症状に応じて適切な処置を行うこと。

なお、貼付が長時間にわたると皮膚症状が強くあらわれるおそれがあるので注意すること。

	副作用の頻度		
	頻度不明	0.1～5%未満	0.1%未満
過敏症 ^{注1)}	熱感	発赤、そう痒、接触皮膚炎	刺激感
皮膚	皮膚剥離 ^{注2)}		色素沈着

注1) 使用を中止するなど適切な処置を行うこと。

注2) 本剤除去時に起こることがあるので注意すること。

3. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ使用すること。〔妊娠中の使用に関する安全性は確立していない。〕

4. 小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない。〔使用経験が少ない。〕

5. 適用上の注意

使用部位

- 湿疹又は発疹の部位に使用しないこと。
- 損傷皮膚及び粘膜に使用しないこと。
- 本剤を皮膚からはがした後、穿刺部位を消毒すること。

6. その他の注意

ポルフィリン症の患者に投与した場合、急性腹症、四肢麻痺、意識障害等の急性症状を誘発するおそれがある。

取扱い上の注意

規制区分：劇薬

貯法：室温保存

使用期限：表示の使用期限内に使用すること。(3年)

(使用期限内であっても、開封後はなるべく速やかに使用すること。)

■包装 50枚(1枚×50)、200枚(1枚×200)

関連情報

承認番号：22000AMX01557000

承認年月：2008年4月

薬価基準収載年月：2008年6月

販売開始年月：1994年12月

再審査結果公表年月：2001年12月

(「ペンレス[®]」として1994年10月承認、1994年12月薬価基準収載)

●禁忌を含む使用上の注意の改訂に十分ご注意ください。

〔文献請求先・製品情報に関するお問い合わせ先〕

マルホ株式会社 製品情報センター TEL 0120-12-2834